

010807皮革・同製品製造業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物 (小)	事故の 規模	労働者 の規 模
2004	4	13 ～ 14	かばん縫製作業中に材料を天井に引っ掛けるため、ミシンの台の上に乗ったところ、滑って床に転落した。	391	1	10 ～ 29
2003	4	10 ～ 11	工場1階のドラムで革なめしと染色を行う作業で、2名でドラム内面にある爪（木製の突起物）の取替え作業を行うため、ドラム内に入り爪の取替えを行い寸動でドラムを回転させたところ、配電盤のスイッチが焼付いたためスイッチが切れなくなり、中で作業していた者が巻き込まれ、ドラムの開口面より外に投出された。	161	7	1 ～ 9
2001	10	9 ～ 10	製革工場内のバトル(皮の水もどし、脱毛を行う機械)で馬の皮を水もどしする作業に従事していた者が、機械内に落下し、馬皮、水、石鹼が入っている槽に落下し溺れた。	391	10	1 ～ 9
2000	6	14 ～ 15	試験的に羊毛などの裁ち屑から肥料を製造する作業に立ち会っていて、製造工程において発生した硫化水素により中毒となった。	514	12	50 ～ 99
1999	8	8 ～ 9	皮革工場鞣工程の作業場で強アルカリ排水に暴露される危険のある箇所で素足で作業したり、靴下もはかずに直接長靴を履いて作業をしたため、左足下腿露出部が腫れ上がり、翌々日の朝になって突然気分が悪くなって病院に運んだが、敗血症、肝不全などで死亡した。	911	90	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。